

積極活用のフェーズに移行

コロナ禍においてデジタル化が進展する中で、技術者のさらなる生産性向上が急務でありB I M / C I M 活用のみならず、D X 実現の必要性を痛切に感じている。B I M / C I M は導入フェーズを終え、積極活用のフェーズに移っている。

設計領域ごとに活用方法に工夫を凝らしながら徐々に活用量を増やしつつある。

原則化が目前に迫る中、一気通貫したモデル活用にはまだ課題はあるが、発注者の要求事項にいつでも応えられるよう備えていく。例えば、

ニュージェック

深山 譲二氏

不確実性を考慮した概算事業費の提示や迅速な災害復旧対応など。

また、B I M / C I M と最新のテクノロジーを組み合わせるなど設計のデジタル化を進めることによって、ナレッジの効率的な蓄積にも期待している。（経営戦略本部長代理 D X 推進部長）

